

濃縮度試験	事業対象年度	平成19年度	濃縮度試験契約	年月日
試験期間	19. 9. 20 ~ 19. 11. 1	試験期間	年月日	毒性試験
試験装置	標・揮 LC50値 mg/L(hr)魚種()	試験装置	標・揮 LC50値 mg/L(hr)魚種()	依 頼
水槽設定濃度 ()		水槽設定濃度 ()		経過
被験物質	分散剤	被験物質	分散剤	
第1濃度区		第1濃度区		
第2濃度区		第2濃度区		
第3濃度区		第3濃度区		
濃縮倍率	開始前 脂質含有率 % 魚種()	濃縮倍率	開始前 脂質含有率 % 魚種()	
	終了後 日後		終了後 日後	
第1	水槽濃度()	第1	水槽濃度()	
	倍率		倍率	
第2	水槽濃度()	第2	水槽濃度()	
	倍率		倍率	
第3	水槽濃度()	第3	水槽濃度()	
	倍率		倍率	
審査部会	第77回 20年 7月 25日 開催	審査部会	第 回 年 月 日 開催	
判定結果		判定結果		
備考		備考		

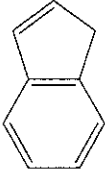
分配係数から類推

[実施機関] 財団法人 化学物質評価研究機構

K-1827の類似物質表

化合物名 (CAS番号)	構造式	官報公示 整理番号 (K-番号)	分解度 (%)	分解 判定 (年)	分配係数 (Log Pow)	LC50 mg/L (ヒメダカ)	濃縮 倍率	濃縮 判定 (年)
[(2-メチルフェニル)メチル]オキシラン (2210-79-9)		3-0574 (K-1827)	標準(4W) 2008年実施 BOD -3, -3, -2 (0)*1 TOC 2, 3, 1 (2) HPLC 91, 91, 90 (90)		2007年実施 2.28 (フラスコ振とう法)		分配係数から類推	
フェニルグリシジル エーテル (122-60-1)		3-0559 (K-551)	標準(4W) 1982年実施 BOD 18, 33, 20 (24) TOC 19, 35, 20 (25) HPLC 93, 94, 92 (93) 逆転(4W) 1982年実施 BOD 58, 33, 62 (51) TOC 66, 18, 68 (51) HPLC 98, 97, 98 (97)	保留 (1982) 良分解性 (1982)				
p-sec-ブチル フェニルグリシジル エーテル (67557-76-0)		3-0575 (K-795)	標準(4W) 1986年実施 BOD 0, 0, 0 (0) TOC 0, 0, 0 (0) GC 77, 78, 77 (77) [p-sec-ブチルフェニル- 2,3-ジヒドロキシプロピル エーテルを生成し、残留した。]	難分解性 (1986)	3.56*2		変化物から類推	高濃縮性 ではない (1986)
p-sec-ブチル フェニル-2,3-ジ ヒドロキシプロピル エーテル (-)		(K-795 変化物)			1986年実施 2.71 (フラスコ振とう法)	40.2 (48hr)	1986年実施 1区(200µg/L): 4.7~6.5 2区(20µg/L): <1.7~6.8 脂質含有率 4.2%	高濃縮性 ではない (1986)

*1 分解度の平均値が負の値に算出されたため、0と表記した。 *2 Kowwin v 1.67 による計算値。

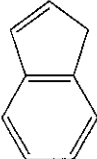
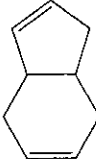
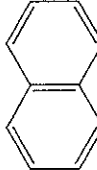
整理番号 K-1828 (4-0580)	分解度試験	分解度試験	分解度試験
1#インデン	事業対象年度 平成19年度	契約 年月日	契約 年月日
(95-13-6)	試験期間 19.10.23~20.2.6	試験期間	試験期間
構造式 (示性式) ・物理化学的性状	試験装置 標・(揮)	試験装置 標・揮	試験装置 標・揮
	試験濃度	試験濃度	試験濃度
 分子式 C ₉ H ₈ 分子量 116.16	被験物質 100 mg/L	被験物質 mg/L	被験物質 mg/L
	汚泥 30 mg/L	汚泥 mg/L	汚泥 mg/L
純度*1 96.2% (GC)	本試験期間 4週間	本試験期間	本試験期間
	外観 ごくうすい黄色透明液体	間接	間接
不純物*1 (物質名, 含有率) 残り 3.8%は不明	BOD -6, -6, -4 (0)	試験結果	試験結果
	溶解度 (対水, その他) 対水 213mg/L(20°C) 対酢酸エチル 10g/L以上 対アセトニトリル 10g/L以上	間接	間接
融点 -8.1°C	HPLC 0, 1, 1 (1)	試験結果	試験結果
沸点 185.7°C	審査部会 第77回	審査部会	審査部会
蒸気圧 2.29×10 ² Pa(25°C)	20年 7月25日開催	年月日開催	年月日開催
密度*1 0.993g/mL(20°C)	判定	判定	判定
LD50	備考	備考	備考
IRチャートの有無 (有) ・ 無	1. 回収率 (水+被験物質)系 94.0% (汚泥+被験物質)系 94.5%		
用途	2. 実施機関 ・ 財団法人 化学物質評価研究機構		
生産量*2 (16年) 未公表	3. 特記事項 ・ 分解度の平均値が負の値に算出されたため、0と表記した。 ・ 被験物質は揮発性物質であったため、TOC分析は実施しなかった。		
試料 購入先 和光純薬工業			
経済産業公報発表年月日			

*1 和光純薬工業添付資料による。

*2 化学物質の製造・輸入量に関する実態調査による。

濃縮度試験				事業対象年度 平成19年度				濃縮度試験				毒性試験			
試験期間				19. 8. 14 ~ 19. 8. 27				試験期間				年 月 日			
試験装置		標・揮		LC50値		mg/L (hr)魚種 ()		試験装置		標・揮		LC50値		mg/L (hr)魚種 ()	
水槽設定濃度 ()								水槽設定濃度 ()				経過			
被験物質		分散剤		被験物質		分散剤		被験物質		分散剤		被験物質		分散剤	
第1濃度区				第1濃度区				第1濃度区				第1濃度区			
第2濃度区				第2濃度区				第2濃度区				第2濃度区			
第3濃度区				第3濃度区				第3濃度区				第3濃度区			
濃縮倍率		脂質含有率		開始前		終了後		濃縮倍率		脂質含有率		開始前		終了後	
				%		%						%		%	
第1		水槽濃度 ()		倍率		日 後		日 後		日 後		日 後		日 後	
第2		水槽濃度 ()		倍率		日 後		日 後		日 後		日 後		日 後	
第3		水槽濃度 ()		倍率		日 後		日 後		日 後		日 後		日 後	
審査部会 第77回 20年 7月 25日 開催				審査部会 第77回 20年 7月 25日 開催				審査部会 第77回 20年 7月 25日 開催				審査部会 第77回 20年 7月 25日 開催			
判定結果				判定結果				判定結果				判定結果			
備考				備考				備考				備考			
分配係数から類推				分配係数から類推				分配係数から類推				分配係数から類推			
[実施機関] 財団法人 化学物質評価研究機構				[実施機関] 財団法人 化学物質評価研究機構				[実施機関] 財団法人 化学物質評価研究機構				[実施機関] 財団法人 化学物質評価研究機構			

K-1828の類似物質表

化合物名 (CAS番号)	構造式	官報公示 整理番号 (K-番号)	分解度 (%)	分解 判定 (年)	分配係数 (Log Pow)	LC50 mg/L (ヒメダカ)	濃縮 倍率	濃縮 判定 (年)
1#-インデン (95-13-6)		4-0580 (K-1828)	標準(4W)2008年実施 BOD -6, -6, -4 (0)*1 HPLC 0, 1, 1 (1)		2007年実施 3.02 (フラスコ振とう法)		分配係数から類推	
3a, 1, 7, 7a-テトラヒ ドロ-1#-インデン (3048-65-5)		4-0581 (K-832)	標準(4W)1996年実施 BOD 0, 0, 0 (0) GC 2, 0, 3 (2)	難分解性 (1996)	1997年実施 3.83 (フラスコ振とう法)	>26.0 (48hr)	1998年実施 1区(100µg/L): 102~285 2区(10µg/L): 160~335 脂質含有率 3.6%	高濃縮性 ではない (1998)
ナフタレン (91-20-3)		4-0311 (K-58)	標準(2W)1977年実施 BOD 0, 0 (0) GC 0, 0 (0) 逆転(4W)1977年実施 BOD 0, 7 (3) GC 0, 0 (0)	保留 (1977) 難分解性 (1982)	3.17*2	9.0 (48hr)	1979年実施 1区(150µg/L): 37~168 2区(15µg/L): 23~146 脂質含有率 --	高濃縮性 ではない (1979)

*1 分解度の平均値が負の値に算出されたため、0と表記した。 *2 Kowwin v 1.67 による計算値。

整理番号 K-143B (3-2024)	事業対象年度 平成18年度	分解度試験	事業対象年度 平成	分解度試験	契約 年月日
4-アミノ-2-クロロトルエン-5-スルホン酸ナトリウム (6627-59-4)	試験期間 18.12.26~19.5.17	試験装置 (標) ・ 揮	試験期間	試験装置	試験期間
構造式 (示性式) ・ 物理化学的性状	試験濃度	試験濃度	試験濃度	試験濃度	試験濃度
	被験物質 100 mg/L 汚泥 30 mg/L	被験物質 100 mg/L 汚泥 30 mg/L	被験物質 mg/L 汚泥 mg/L	被験物質 mg/L 汚泥 mg/L	被験物質 mg/L 汚泥 mg/L
分子式 $C_7H_7ClNaO_3S$ 分子量 243.65	本試験期間 4週間	試験結果	本試験期間	本試験期間	本試験期間
純度 99.9%	間接	試験結果	間接	試験結果	試験結果
外観 白色結晶性粉末	BOD 0, 0, 2 (1)%	DOC -1, 1, 0 (0)%	DOC -1, 1, 0 (0)%	HPLC -2, -1, -1 (0)%	間接
不純物 (物質名, 含有率)	試験結果	試験結果	試験結果	試験結果	試験結果
溶解度 (対水, その他) 対水 >100 mg/L	審査部会 第68回	審査部会 第68回	審査部会 第68回	審査部会 第68回	審査部会 第68回
融点 -	19年10月26日開催	19年10月26日開催	19年10月26日開催	19年10月26日開催	19年10月26日開催
沸点 -	判定	判定	判定	判定	判定
密度 -	備考	備考	備考	備考	備考
LD50	1-オクタノール/水分配係数 -	1-オクタノール/水分配係数 -	1-オクタノール/水分配係数 -	1-オクタノール/水分配係数 -	1-オクタノール/水分配係数 -
チャーターの有無 (有) ・ 無	安定性 -	安定性 -	安定性 -	安定性 -	安定性 -
用途*1 添加剤 (塗料、顔料)	1.回収率 (汚泥+被験物質)系 100%	1.回収率 (汚泥+被験物質)系 100%	1.回収率 (汚泥+被験物質)系 100%	1.回収率 (汚泥+被験物質)系 100%	1.回収率 (汚泥+被験物質)系 100%
生産量*1 (16年) 製造及び輸入 100~1,000 t 未満	2.実施機関 三菱化学安全科学研究所 株式会社	2.実施機関 三菱化学安全科学研究所 株式会社	2.実施機関 三菱化学安全科学研究所 株式会社	2.実施機関 三菱化学安全科学研究所 株式会社	2.実施機関 三菱化学安全科学研究所 株式会社
試験料 和光純薬工業株式会社					
経済産業公報発表年月日					

*1 化学物質の製造・輸入量に関する実態調査による。

濃縮度試験		濃縮度試験	
試験期間	19.12.20 ~ 20.3.19	試験期間	~
試験装置(標・揮)	LC50値 >100 mg/L(96hr)魚種(ヒメダカ)	試験装置(標・揮)	LC50値 mg/L(hr)魚種
水槽設定濃度 (µg/L)		水槽設定濃度 ()	
被験物質	分散剤	被験物質	分散剤
第1濃度区	200	第1濃度区	
第2濃度区	20	第2濃度区	
第3濃度区		第3濃度区	
濃縮倍率	脂質含有率終了後 8.2% 開始前 魚種(コイ)	濃縮倍率	脂質含有率終了後 開始前 魚種()
第1	4日後 205 <3	第1	4日後 205 <3
第2	7日後 204 <3	第2	7日後 204 <3
第3	14日後 205 <3	第3	14日後 205 <3
水槽濃度 (µg/L)	205	水槽濃度 ()	
倍率	<3	倍率	
水槽濃度 (µg/L)	20.6	水槽濃度 ()	
倍率	<24	倍率	
水槽濃度 ()	<24	水槽濃度 ()	
倍率		倍率	
審査部会	第77回 20年7月25日開催	審査部会	第 回 年 月 日 開催
判定結果		判定結果	
備考	[定常状態における濃縮倍率] 第1濃度区 <3倍 第2濃度区 <24倍 [回収率] 試験水 99.3% 試験水 第1濃度区 5 µg/L 供試魚 89.7% 供試魚 第2濃度区 0.5 µg/L 430 ng/g	備考	
[実施機関] 株式会社三菱化学安全科学研究所			

毒性試験

年月日

依頼

経過